

ナマステ



特定非営利活動法人
自然文化誌研究会 会報誌

117 号

2014 年 10 月 20 日発行号

←植物と人々の博物館ロゴマーク。

ログハウス 2 棟目もついに完成、7 年間たくさんの思い出が詰まっています。また 1 年半掛かりました事務局の小菅村での新居も完成。ということで、一つずつ前に進み、新規の(受託)事業も無事に終わることができました。会員の皆さま、参加者、スタッフの皆さま、小菅村の皆さまに感謝しております。

これからも前に進み続ける自然文化誌研究会であるようにいきたいと思います。(事務局)

事務局のブログが変わりました。 <http://npoinch.naturum.ne.jp/> です。よろしくで～す！！

活動報告

その1 「こすげ冒険学校(第9期)」報告 7.31~8.6(6泊7日)

定員をちょっと超えた 23 名の参加者とともに、6 泊 7 日の「こすげ冒険学校」を開催しました。天気に恵まれ、多くの活動を行うことができました。6 泊 7 日間の様子をご報告します！！



今回のキャンプは楽しかったです。ともだちいっぱいできました。はるちゃんとドーナツを一緒に作ったり、川で遊んだりしてとても楽しかったです。せんろもたのしかったです。また来年も一緒にお菓子を手づくりしようね。

川見ゆりあさん

ぼくが、今回のキャンプで楽しかった事は 2 つあります。一つは、水遊びです。もう一つは、米研ぎです。水遊びで楽しかったのは、ダム造りです。またキャンプに参加できるのを楽しみにしています。来年は山登りをしたいです。

黒野優喜くん(5 年生)

<こすげ冒険学校の中身>

日付	主なプログラム
7/31	テント立て、キャンプ場案内、夕食作り(カレー)、虫捕り
8/1	薪割り、そば打ち、川遊び、木工、ダム作り、川遊び、夕食作り(から揚げ)、花づくり、虫捕り
8/2	カジカ捕り、つり、川遊び、仮装、夕食作り(煮込みハンバーグ)、お祭り、虫捕り
8/3	カジカ捕り、つり、うどん作り、白糸飛び込み、夕食作り(肉じゃが)
8/4	沢登り、コンニャクづくり、手づかみ漁、夕食作り(ハヤシライス)、星空
8/5	カジカ捕り、雄滝、白糸の滝、川遊び、小菅の湯、夕食作り(麻婆茄子)、全体会、花火、星空
8/6	片付け、大掃除

※虫捕り、薪割り、焚き火はいつでも開催中

7/31 奥多摩駅を経てようやく小菅村へ到着。すぐに夕方なので、今日はテントを立てて、一週間の生活の準備をしながら、焚き火、薪割り、虫捕りを早速開始しました！！



初日から米炊きもやってくれました。子どもミーティングも初日は緊張。



午後は川遊びをしながら、五右衛門風呂で温まります。

8/1 午前中は、船木民宿のアキ子さんに来てもらい、そば打ちを教わりそのまま昼食です。同時に川遊び開始。



夜は小菅村の三ヶ村のお祭りが翌日にあるので、その準備を手伝いに行きます。「花づくり」と言います。村の方に教えてもらいながら手伝いました。帰り道はナイトハイク・虫捕りをしながら。



男女問わず、興味のある子どもたちが集まって教わり、みんなの昼食になるそば打ちをしました。

8/2 午前中 川遊びとカジカ捕り、釣りとか々々分散します。



クワガタ・カブトムシの成績もなかなか。

前田尚寿くん(4年生) ぼくはキャンプで一番楽しかったことは川遊びです。毎年行くと必ず川に入ります。今年もダムを作って2か所だけ超深くなっているところがありました。来年も行きたいです。



カジカ捕りも毎日成果があったね～！！

夜は昨日手伝った、三ヶ村のお祭りへ行きました。仮装して。ふなっしーや、くまもんなどなど・・・。

8/3 カジカ捕りと釣りは前日とメンバー入れ替え。釣りについては、スタッフのまーしーの報告にあるように、忙しくて全然写真がありません～。

昼ごはんは、スタッフの小林くんによるうどん作りをしました。



白糸の滝に飛込みにも行ったね！！

8/4 朝食前から沢登りに何人か行ってきました。今日の午前中は再びアキ子さんにきてもらいこんにやく作りです。

この頃になると、みんな良い意味で疲れてきます。その結果、昼寝をしたり、早く寝たり、だんだんと自分のペースができてきます。無理もしくくなります。やりたいことを自分で選びます。キャンプが一番楽しくなってくる頃です。



楽しかった川あそび

佐地景都さん（3年生）

はじめて、ぼうけん学校に行かせてもらうことになってよかったです。そんなにすぐに友だちはできないと思っていましたが、男の子の友だちが2人いたので安心しましたが、電車の中で、となりにいた女の子が「名前は何？」と聞かれ、私は名前を答えました。そこから私も誘う勇気ができました。そして私がいろいろ人を誘い友だちがいっぱいできました。

川遊びは、水かけあいとかで寒いと言いながら遊んだり浮き輪の上に乗って川の流れに沿って流されたりするのが楽しかったです。

らい、上流で手づかみ漁です。ようやく晴れたので、夕食後は、ヘリポートで星空観察。即寝が多数。



甲斐くんが25cmのイワナを手づかみ！シカの角も拾った～。

8/5 午前中はやりたいことをやって、午後は小菅の湯へ行きます。6日間、川と五右衛門風呂だったので石鹸を使うのも久しぶり。みんな遅くなった。そろそろ「こすげ冒険学校」も終わりに近づきます。夜は全体会を行い、子どもスタッフも一言ずつみんなに感想を伝えました。

8/6 朝からもう片付けです。荷物をまとめて、テントと寝袋を干して、帰る支度です。掃除もちゃんとしたね！！そして修了式。栗村長より「修了証」が参加者全員に渡されました。今年の「こすげ冒険学校」も終わりました。みんな、おつかれさま！来年も待ってるよ♪

（事務局）



（おもしろかったこと） キャンプに参加しておもしろかったこと。カジカつき、怪談話、川遊び、星空観察、大富豪が楽しかったです。来年も参加したいです。 中根礼央くん(5年生)

キャンプでの思い出 吉沼響介くん（4年生）

ほくは、はじめてのキャンプで印象的だったのが自分のしたいことを好きなようにやっていいということです。なので自分が作りたかった物を好きなだけ作れたのですごく楽しかったです。栗さんの・・・怪談話の一番こわいやつが聞けなかったので今度のキャンプでぜひ聞きたいです。こんどのキャンプでしたい事は、キャンプにきている人、全員でドロケイなどなどの事をしたいです。すごく楽しかったです。

峻くん:世界で2番目に好きなソバ(打ち)を初めて経験できた。

政博くん:手づかみ漁で魚に触れなかった。リベンジしたい！

進梧くん:お祭りのおこづかい300円だが、価値が分かった。

大悟:スタッフとしてまだまだ自分は足りない、がんばりたい！

佐伯さん:10年以上ぶりに来ました。あの時と同じように小さな冒険していることが良かった。勇気＝発言する勇気。少し超えられると良いね。（※全体会での発言は、順番ではなく、自主的に手を挙げて全員が発言をしました）

小菅村で楽しかったこと 佐地麟太郎くん（6 年生）

初めて小菅村に行って楽しかったことは、水遊びです。釣り、川遊び、沢登り、滝。釣りは合計 10 びき釣れたので楽しかったです。その後、食べておいしかったです。その他にもいろいろな滝に行って良かったです。

もし今後行ったらやってみたいことは川下りです。あの川だったらできると思います。他にも町探検などもやってみたいです。特にやってみたいのが滝を登ってみたいです。

7 日間キャンプをしてテレビで天気も情報も見ないで過ごして何にも分かんなくても晴れてれば何でもできるのですごいなと思いました。

また行きたいのでよろしくお願いします。ありがとうございました。

スイカ

横山昌佳（まーしー）

釣りに、行く。

ひげを剃ったニュー・佐々木のおっちゃんとむぎちゃん、めぐとともに、村営釣り場でニジマス釣るのである。釣る、といってもじっさいに竿を振るのは子供だけで、大人たちはもっぱら糸を結んだり、ウキを付け替えたりする役目だ。仕掛けを直した途端に枝へ引っかける。あれほど言っているのに隣の子のそばで釣って、糸を絡ませる。ハサミはどこだのブドウ虫が触れないだの、道具箱のそばに座っていると、ついぞ休む暇がない。

「まーしー、針ちょうだい！」

「まーしー、重りどこ？」

「絡まった！」

「あつ、おれが先だぞ」

「まーしー、糸結んで」

「できないよ、まーしー」

「まーしー！」

「おれが先だって」

「まーしー！」

「まーしー！」

そんなに何人もいねえよ、まーしーは。

＊

そういうわけで、「まーしー」何人か分の働きをしようと思う。寒いので敬遠していた沢登りにも、だから今回は何年かぶりで同行した。

逞しいリーダーの雫が、「三点支持」について説明

小菅村の感想 山田きすくくん（4 年生） ぼくが一番楽しかった事は釣りです。ぼくは、ニジマスを十びき釣りしました。おいしかったです。さばいた時にニジマスのうきぶくろをはじめて見ました。今年のぼうけん学校も楽しかったです。

する。右手左手、右足左足と四つあるうち、三つを使って身体を固定すれば、うまくバランスが取れて危険も少ない、という。言われるままに、手近の岩場にかじりつくようにして実践をする。眼前のコケで蛙が跳ね、カナブンがよじ登り、見上げれば梢は高く、水しぶきが涼しく迫る。ふいに、自然は遊ぶために作られているのだ、という考えが頭に浮かんだ。だとすれば納得が行くのだ。この清流が快いのも、岩肌を越えるのが面白いのも。

三点支持で、左足。

三点支持で、右足。

＊

キャンプ場は飯がうまい。それも、誰かに作ってもらった飯がうまいのである。小林のうどん然り、炭火で焼いたカジカ然り、特別な料理ももちろんだが、ただ揚げたドーナツでも、いっそチキンラーメンでも、空いた小腹も手伝って、俄然、ごちそうになる。

二日目はアッコおばあにそば打ちを教わり、もらった村のキュウリとともにおいしい昼食になった。が、消化が良くてお腹が空いたのだろう。寝ていて食いはぐれた拓海にベーコン・エッグのトーストを作ると、まず甲斐が、次に大梧が、たかひさが、蓮がと、希望者が続出した。

面倒なので、卵を 5 つも 6 つも使い、大きな一枚を作る。パンを囲炉裏で焼かせた上で、焦げたベーコンと半熟の卵をよそってやると、瞬く間に売ってしまった。そこへ期待して戻って来た甲斐が、空っぽのフライパンを見て、

「……………」

うなだれた。

それにしても、今回のキャンプで一番うまかったのは、りゅうじのスイカではないだろうか。小金井の駅から大事に抱えてきたそれを、みんなでスイカ割りをして楽しみ、独り占めすることなく分け合った。遅れてやって来たぼくにはまともな一切れがなかったのだけれど、りゅうじが「はい」と自分のをくれた。そのみずみずしいこと、甘いこと。

りゅうじ、大人になったなと雫が肩を叩くと、彼はこんな風に返したという。

「あの頃のぼくは落ち着きがなかった」

川が流れていく。

その2 「INCH まつり～INCH ライズときのご探り」

10.4～5

「こんな楽しいイベントにどうして人が集まらないのだろう!？」毎年参加する人はそう言います。知る人ぞ知る、本会で最も自由なイベント「INCH まつり」です。今年は 14:30 に開演。キャンプ場に作った舞台上で演奏が始まります。音楽が得意でない人は、きのご探りへ山へ向かいます。同時に、バーテンダーの「ひでやん」も来て、バーム開きました。音楽と宴会は続き、村の方も混じってのにぎやかな集まりになります。



翌日は雨のため、きのご探りはできず早めの解散でしたが(中込みさんはそれでも雨の中、山へ行きマイタケを入手)、ゆっくりと夕方まで雨の中のキャンプ場で過ごす人もいました(まーしー、おのちゃん、大ちゃんなど)。

自由過ぎて、事務局も当日は写真を撮り忘れてしまい、写真は一昨年のもので。すみません!!

その他の事業

「八王子市教員パワーアップ研修会」 7.24

昨年に引き続き、3回目の研修会を行いました。本会理事の鈴木英雄さんと黒澤の 2 人で講師を務めました。八王子のグランドキャニオンと呼ばれる北浅川にて、実際にフィールドに出て研修会を行いました。主なテーマは、地質のこと安全管理のことなどを重点としました。



小菅にも欲しい北浅川のフィールド。高いところからの飛び込みが超楽しい～!! (でも研修です)

今年は台風の接近もあり、「やまめキャンプ・いwanaキャンプ」を中止とさせていただきました。

他にも、ELF 閑居学習指導者養成(のびと)研修会、企業研修キャンプ、高校生の合宿などを受け入れ、その他のキャンプも受け入れました。多くの皆さんと活動をとることができた夏になりました。

「タイ環境学習キャンプ」「源流での登山道整備」については、次号以降の会報ナマステでご紹介します。

■ 活動案内 ■

その1 「第34回環境学習セミナー」

11.8(日曜日)

都市民が学ぶ山村の伝統的知識～トランジション・タウンと山村をつなぐ雑穀街道～

日時: 2014 年 11 月 8 日(土)

場所: 山梨県小菅村 中央公民館

主催: 自然文化誌研究会、ECOPLUS

共催: エコミュージアム日本村／植物と人々の博物館／
ミューゼス研究会、トランジション・タウン藤野

後援: 小菅村、日本雑穀協会、トランジション・ジャパン、
(申請中)ほか

参加費: 2000 円 (通信費、資料代・茶菓代等)

宿泊: ご希望があれば、旅館、民宿などを紹介します。

日程:

9:45 村内案内の希望者は小菅の湯駐車場に集合

10:00-11:30 エコミュージアム日本村／植物と人々の博物館
などの案内

11:30-12:45 昼食/小菅の湯レストラン(雑穀メニュー等)

13:00～17:00 環境学習セミナー

1. 挨拶 中込卓男 (自然文化誌研究会代表理事)
2. 提案「雑穀街道を創ろう」木俣美樹男(植物と人々の博物館)
3. 実践報告

1)トランジション・タウン藤野のローカル・シード・バンク
末村成生 (TT 藤野お百姓クラブ)

2)上野原市鶴川流域の地産品振興 白井誠一(びりゅう館)

3)小菅村における雑穀の商品開発 古菅芳勝(小菅の湯)

4)南魚沼、栃窪での棚田実践 予定(NPO 法人 ECOPLUS)

4. 座談会

17:30～ 5. 交流会(宿泊希望者)

連携種市案内

11月9日(日) トランジション・タウン藤野お百姓クラブ、篠原の

里にて詳細は・・・ <http://www.organic-base.com/topic/tane>

趣旨:

日本には、全国にドイツ村、スペイン村、などたくさんありますが、日本村はありません。私たちは30年余りにわたって、日本村を再生するエコミュージアム活動をしてきました。この国の伝統的な生活文化を学ばなければ、国籍だけは日本人にすぎません。山住みの縄文文化の系譜はこのくにの生活・生業の基層にあります。自然にかかわる暮らしを学び伝えることが、このくにを過去から未来に持続させる秘訣です。

「いざ日本村」は、鎌倉幕府に有事がある際に、御家人が鎌倉街道をはせ参じる「いざ鎌倉」のパロディーです。鎌倉街道は村々から都会に向かう道路網です。今でも東京都道18号線や神奈川県道21号線は鎌倉街道と呼ばれています。このセミナーでは都会から山村に向かう道として「転生」鎌倉街道を「雑穀街道」として提案します。トランジション・タウンづくりの活動は、神奈川県藤野町(旧)から、鎌倉など湘南へ、小金井など多摩へ、さらに都留など甲斐へと進展してきています。これらのトランジション・タウンをつなぐのが雑穀街道です。雑穀は縄文時代以降、このくにの家族の食料を支え、家系を守ってきました。もう一度、持続可能な地域社会における心の食べ物の象徴として、普及再生したいと思います。

このセミナーは1984年に始めた野外教育セミナーから続く、環境教育・環境学習活動の源流です。第34回からは多摩川源流の小菅村で毎年開催します。多くの人々をつなぎ、未来に向けた企画まで話し合いたいです。(国は中央行政政府など国家、くには自然村落など地域社会を意味します)

その2 「のびと講座 星空観望会」 12.13～14(1泊2日)

毎年恒例、冬の小菅村で天体観測しませんか。天体の撮影にも挑戦しましょう。去年の「アイソン彗星」のような大きな天体ショーはありませんが、この時期は、ふたご座流星群の活動時期なので、普段より多くの流れ星も見ることができます。星空の写真撮影の方法についても解説します。小菅村は東京から近いのですが、星を見るのに具合の良い環境です。

日時: 2014 年 12 月 13(土)～14 日(日)

場所: 小菅村の空が広く、真っ暗な場所

宿泊: キャンプ場にてログハウスか星を見ながら寝袋

対象: 小学生3年～一般 15名 ※小学生のみは要相談

費用: 会員 5,000 円 非会員 8,000 円

※宿泊費、食費、保険代、教材費を含みます。

講師: 中込貴芳(本会副代表理事)

佐々木正久(茨城県立石岡二高教諭)

去年は、日の出まで星空を観察し続けた人が多数。少数はさっさと就寝という感じでした。

内 容: 日中に観察のポイントや天体の話、天体写真講座を行います。夕刻～深夜まで流星を楽しみましょう。夜食は暖かい鍋でも囲みます。翌日は遅めの朝食、小菅の湯で冷えた体を温めて帰ります。

※ バルブか数十秒までの露出ができるデジタルカメラまたはフィルムカメラ(フィルムカメラの場合 ASA400 以上のフィルム)、三脚をお持ちの方は、ご持参ください。

その3 「冒険学校 まふゆのキャンプ」 12.26～28(2泊3日)

毎年恒例の冒険学校「まふゆのキャンプ」を体験して、暖かいお正月を迎えませんか？

小菅村ではお正月の準備がもうはじまる頃です。日中は、村内を自由に動き、お正月の準備を見に行ったり、村の中でもちょっと面白いところに行きましょう。

焚火・薪割り・ドラム缶風呂・ナイトハイク・星空観察・アウトドア料理・滝探検・・・その場で思いつく限り、いっぱい遊んで、食べて、寝る。そんなキャンプです。個性あふれるスタッフがみなさんの参加を待ってます。

日 程: 12月26日(金)～28日(日)

場 所: 小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊: テントまたは野宿またはログハウス

集 合: 12月26日 JR青梅線奥多摩駅午前

解 散: 12月28日 JR青梅線奥多摩駅午後

対 象: 小学校3年生～中学校3年生

定 員: 25名先着順です。

参加費: 会員¥20,000 非会員¥22,000

(奥多摩駅からの交通費・食費・宿泊費・保険代などが含まれます)

申込み: ハガキ・もしくはE-mailに住所・氏名・年齢(学年)・性別・電話番号を記入の上、12月12日(金)までに事務局まで参加をお伝えください。



冬ならではの遊びをしますよ。ソリやスキーで滑る～。



去年はたまたま？ 雪だらけでした！！



寒空の朝、バードウォッチング！



食べることは楽しみだ！！料理もいっぱいしますよ。

『INCH の楽しい仲間たち』 vol.7

『冒険探検粉塵記

第 1 話 マリア様のもとで』

駄作者：文福洞先斗

連載を始めるに当たり、最初にお断りしておきます。この冒険探検粉塵記はうらない作家、文福洞先斗の私小説風、虚実交ぜになったフィクションです。いたって誠実な半生の面白悲しさの真実を綴ります。

おみゃーさん、知っとりゃーすか。ぼんちゃんのかの有名なえびふりゃーの街、名古屋で育ったんだぎゃー。今では、名物はきしめん、味噌煮込みうどん、てんむす、ひつまぶしと発展しておりゃーすが、子どもの頃は何も知らずにこれらを食べたこともないがや。

ぼんちゃんは老舗和菓子屋ぶんぶく洞の御曹司だったのです。小学校 1 年生のころに、祖父が他界するまで、ぶんぶく洞は上前津と覚王山日泰寺参道に 2 店ありました。織田信長が創設した甚目寺にも和菓子を納めていました。このため、戦後の貧しい時期にもかかわらず、甘いものには不自由しませんでした。しかも、近所の名門東海教会幼稚園に 1 年間行かせてもらいました。マリア様のもとで、就学前のひと年を過ごしたのです。ところが、ご近所には文化住宅（アパート）に住む、裕福なサラリーマン家庭が多く、こうした家の御子息は幼稚園に 2 年間も行くのです。1 年しか行けないボンちゃんら自営業の貧民の子は、幼稚園で先に入っていた同級生ギャングに虐げられました。幼児のうちから、子ども集団の中で、差別や格差を刷り込まれたのです。この結果、直情的で、正義感が強いボンちゃんは反抗的なひねくれ者に育ってしまいました。しかし一方、マリア様のもとで、信仰への敬意はしっかりインプリントされていました。

ボンちゃんは病弱で、鈍くさかったので、いつもお弁当をこぼしてしまいます。そこで、近所の女医さんは牛乳を与えることを勧め、幼稚園の先生はパンをもって来るように示唆したのです。おかげで、チョコパンばかり食べていたので、肌は健康な小麦色になりました。その後、運動は苦手でも下手の横好きで、いろいろやってみました。卓球、水泳、バスケット、……。野球はピッチャーでした。なぜ、エースかって、外野にすればすべてホームランにしてしまうから、打たせて取らせる作戦なのです。最も長続きしたのはラグビーでした。高校ではかの高名な瑞穂ラグビー場で試合しました。GF も見に来たので、お情けで後半出してもらい、張り切ったのですが、勝利の味は知りません。走るのが好きで、陸上リレーで 1 位になったこともあ

りますが、すべては同級生の頑張りの成果です。大学では航空自衛隊の大男たちとも試合しましたが、国立大学生なら頭で勝てと小ばかにされて負けてしまいました。

ボンちゃんは読書好きで、『冒険王』は愛読書、小学 5 年生の時には『少年サンデー』や『マガジン』が創刊されました。月光仮面や赤胴鈴之助、ゼロマンや鉄人 28 号は面白かったです。2 枚の風呂敷を覆面とマントにし、自転車の車輪には段ボール紙を挟んで、爆音を響かせ、サタンの爪と戦いました。鶴舞公園の円墳で坂を転がると、めまいがします。これを真空切りと叫んでからしていました。確か、6 年生の時には自分で新聞を発行し、アンモナイト大発見の記事を書いていました。探検家に憧れて、「海底 2 万哩」や「十五少年漂流記」は好きでしたが、長ずるに及んで次第にノンフィクション探検記に読書傾向が移っていきました。

できんぼで泣き虫でしたが、ボンちゃんは番長には従わず、だれの子分にもなりません。毎日、教室の机や椅子をひっくり返して、大喧嘩に明け暮れました。それでも理はこちらにあったので、意外に優等生がひそかに味方してくれていました。いじめに屈することはなかったのです。なぜなら、ジャイアンに喧嘩の仕方を習ったので、泣きながらも、番長にダメージを与えられるよう、元気になったからです。女の子にも目が大きいからという理由で、仲間外れにされ泣かされていました。ただ一度だけ、大いに泣かしてしまったことがあります。軟式テニスボールに穴をあけて、この中に小麦粉を詰めて、握りしめると、白煙が立ちます。つまり忍者の煙幕です。たまたま通りかかった運の悪い女の子にかかってしまい、頭が真っ白けになってしまいました。

6 年生の時、親友のジャイアンが番長らに侮辱されたので、講堂で 2 対 10 の大乱闘をしました。さすがに勝ち目はなく、恐ろしい職員室に初めて訴えに行っただけです。ところが先に手を出したお前が悪いと一喝されました。これ以来、先公に強い不信を抱き、ひそかに反抗することになりました。また、中学生になって腕力が強くなってからは、だれもボンちゃんにちょっかいを出さなくなりました。大きくなってからの暴力は犯罪ですからね。喧嘩をしてはいけません。（つづく）

写真（左）は東海幼稚園の同級生たち

写真（右）は小学校 1 年生（幼児は弟）。



『家を建てるまで』 vol.5 (INCH の楽しい仲間たち vol.5)

9 月 7 日の作業日を経て、翌 8 日(大安)を完成の日としました。18 日に住民票を移動し、20~21 日新居へ引越し。22~3 日に旧居を片付けて…1 年半の作業終えて新生活とさせていただきます。

- 3 月:室内天井の完成、断熱材、外壁の塗装 など。
- 4 月:トイレ、お風呂の壁の設置 など。
- 5 月:ドアの取り付け、床材の設置 など。
- 7 月:モルタルを作って、土間のタイル張り など。
- 8 月:ストーブの設置、庭の石積み、整地、仕上げ など。

昨年の 2 月頃より、家を建てる動きを始めました。土地交渉から始まり、ログハウスのメーカーを訪れ、7 月に地鎮祭。整地~基礎工事を経て、材料が届いたのは 10 月 25 日。そこから 11 ヶ月で家が完成し、住むことができました。

上下水道などの水回り、お風呂、屋根は専門業者に頼みました。基礎工事専門業者であるキャンプ場のオーナーの木下善晴さんをお願いしました。それ以外の全ての大工仕事に当たる部分は、ログビルダーの皆さん(棟梁:若狭浩二さん)を中心に、多くの方々の協力を経て、ついに完成しました。心より感謝申し上げます!!

住み始めてまだ 1 ヶ月も経ちませんが、イチからログ材を積み重ねた現場であり、雨や雪の寒い時も 2 週間ごとに皆さんと積み上げた現場です。そう、「現場」であるという感覚がものすごく強くて、まだまだ住まいであるということが馴染みません。完成してホッとしています、同時に皆で積み上げた現場が終わったという寂しさの方がまだまだ強いなど。



家のどの部分を見ても、皆と苦労しながら作った思い出があります。施主としてこんな幸せなことはないのだろうと実感しています。

さてさて、これから自分の成すべきことですが…感謝を胸に突っ走ることです。そう、一生冒険探検を続けていこうと思います。本当にありがとうございました!!(くろさわ)

やっとこさ出来上がりました!! 一体どれだけの人が携わっているのか…、本当に感謝しかありません。

新居に引っ越して約 1 ヶ月。とても暖かくてまだ薪ストーブは灯けていません。早く灯けたい気持ちもあるけれど、養魚場の親方は「寒くなればなるだけ豊かな気持ちになるから、もうちょっと待ったら?」と酔っ払いながらアドバイスしてくれました。なので、火入れはもう少し先になりそうです。

昨年の今頃は作業の昼食では、おでんとカレーばかり食べてたなあ。

「家を建てるときは 7 回頭を下げるもんだ。」とは、普段からお世話になっているキャンプ場オーナーであり、我が家の建設において甚大な協力者、善さんの言葉。

土地交渉やら、挨拶やら、何やらで 7 回じゃ足りないよ! と思う部分もありましたが、住み始めてから頭を下げることの方が多いことに気がつきました。

「ここは吉永さんが緻密に測ってくれた床下収納で…」

「こっちは宮野さんとタイルの目地入れたところ。」

「塗装は中ちゃんがいっしょにやってくれた。」

「ログを積む前の土台の防蟻剤は松崎と塗った。」

「風除室は池田さんと善さんと黒と私の 4 人で積んだところ。一緒に足場の組み立てもやった凄く暑い日だった。」

「棚は小山さんと大ちゃんが作ってくれた。換気扇も付けてくれた。」

「山本さんはとても丁寧で、私の雑な作業を見ながらいつも(いや…)とか(ちょっとそれは…)と言って手直しをしてもらったところ多数!!」

「家に来た人がみんな誉めてくれる窓枠は、きらちゃんが爪を真っ黒にしながら張ってくれたもの。」

「見えないところこそ手を抜かない棟梁の若狭さんは、ネコ断熱とか、キッチンの高さとか、煙突回りも全体のことも含めての苦労とか…。」その他もろもろ、この家がどうやってできているのか知ってるからこそ、毎日感謝の連続です。まさか本当にできちゃうなんて本当に凄いことだけど、私たち夫婦だけでは絶対に無理だった(というか、家を建てようとは思わなかった)から、このご縁にも感謝して謙虚に明るく少し贅沢な暮らしを楽しんでいきたいと思えます!

(はるこ)

新居に荷物を運び終えて、9 月 22 日に旧居の掃除を冒険学校村長の雫さんと開始。「こりゃ終わらん(><)」と、翌日が祝日なのでヘルプを求めたところ、7 人も集まってくれました。雫さん、まーしー、おのちゃん、大ちゃん、ひるまん、翔ちゃん、母上、本当にありがとう!!

『植物と人々の博物館』 vol. 15

①「小菅村巡検」と「第 16 回雑穀栽培講習会」

5 月 10～11 日に、協力団体である NPO 法人エコプラス（代表：高野孝子さん）の方が、小菅村に巡検に来ました。本会と共同で、伝統的な智慧＝「伝統智（知）」について調査研究を行っているので、お互いの活動拠点を見合う目的です。「エコミュージアム日本村構想」の小菅村を案内しながら、翌日の雑穀栽培講習会にもご参加いただきました。

雑穀栽培講習会では、隣の丹波山村の岡部良雄さんご夫妻に講師をしていただきました。アワ・キビの播種だけでなく、今年は竹かごづくりのプログラムも行いました。



①種まき



②竹かごづくり



③防鳥ネットした雑穀見本園



④活動後に、伝統智研究会の開催

そして翌週、今度は NPO 法人エコプラスの活動拠点である、新潟県の南魚沼へ伺いました。

②伝統智研究会～南魚沼巡検

小菅巡検の翌週の 5/16-17 に、南魚沼へ行きました。相談役の木俣美樹男さん、代表理事の中込卓男さん、事務局の黒澤の 3 名で伺いました。

東京駅から新幹線でも 1 時間。越後湯沢駅へ到着、「小菅よりも近いかも」と思ったりしながら、栃窪集落へ到着。集落を案内していただき、地元住民も交えた意見交換会を経て、待望の夕食を待ちます。小菅村も「山菜」がウリですが、ここ南魚沼の山菜は雪国なので本場なのです！！



民宿での夕食。木の芽＝ミツバアケビが絶品！

翌日は、山菜教室に合流させていただきます。畦や道沿いに、ウド、ツリガネニンジン、シオデ、ミツバアケビなど普通に生えています。



収穫後に鑑定会を行い、おみやげにさせていただきます。



そして、昼食は地元のおばちゃんたちが用意してくれた「山菜づくし」のフルコース。これにはぶったまげました。「スゲー」の一言です。

振り返り会をして、南魚沼を後にしました。

感想は、やはり山菜は本場。小菅と違って空が広い。パノラマな景色、酒が旨い。（事務局）

③東京学芸大学の小菅実習

7/5-6 の日程で、学芸大学の小菅実習「自然文化環境調査法 AB 農山村における生物文化多様性フィールド実習」をご案内しました。担当は、新しく赴任された小柳知代先生です。学生 22 名が 3~4 班に別れて、村民を訪問します。



①木俣さんによる博物館案内



ワサビ田での聴き取り実習

日中に、養蜂の青柳竹男さん、養魚場の木下稔さん、食べ物の守屋アキコさん、狩猟の青柳一男さんの 4 軒を訪ねました。

夜の座談会はキャンプ場で囲炉裏を囲みました。



翌日は、3 チームに分かれて実際に作業します。畑、手打ちそば、シカ避けの網張りなどを手伝いました。後日、大学で実習成果の発表会があり、学生から見た（客観的な）小菅村の報告を聞かせてもらいました！！（事務局）

『小菅村の動き』 vol. 15

夏のお盆空け・・・土日以外、小菅村は日常の平静さに戻りつつあります。そして 9 月になると、紅葉シーズンまでしばらく穏やかな状況が続きます。

①小菅村のいろいろ

10 月 1 日よりバス路線に変更があります。なんと！奥多摩駅から小菅の湯への直通バスになります。

また、11 月中には、小菅村～大月市をつなぐ「松姫トンネル」が開通しますよ！！（11 月 17 日に開通式）

さらに、小菅の湯駐車場に、「道の駅 こすげ」が年明けにはオープンします。

年明けの 3 月には、小菅村役場の新庁舎が完成します。いろいろ便利になっていきますが、本会はいつまでも、ま～つたりと活動をしていますよ！！

②第 17 回「大地の恵まつり」

11 月 3 日（月・祝）に小菅の湯物産館（駐車場）にて開催します。本会でもお世話になっている「小菅村 100% 自然塾」では、朝採れのきのこの販売と、きのこのうどんを販売します。「きのこ採りに行きたい！！」という方は、9 時まで小菅の湯物産館に来て、合流していただければ、一緒に山にも入れますので、ご連絡くださ

い。夜は宴会です。翌日は平日ですが泊まりも OK？



きのこ販売。飲みながら～。

③今年のきのこ

夏場にちゃんと雨も降りましたし、冷え込みもちゃんとしているので、きのこの具合は良いみたいです。既に、マツタケ・マイタケを採った情報はあります。冷え込みが進みすぎて、既にムキタケが発生しているようですよ。

○ 今後の活動予定のお知らせ (2014 年秋～冬)

11/8 『第 34 回環境学習セミナー』 @小菅村日帰り

12/13～14 のびと講座『星空観望会～ふたご座流星群』 @小菅村 1泊2日

12/26～28 冒険学校『まふゆのキャンプ』 @小菅村 2泊3日

※年明けに「第 11 回通常総会」を開催します。開催日はまだ未定です。次回のナマステ 118 号でご案内します。

○ 事務局より

正会員でログハウスづくりでも活躍いただいた中川幸生さんが、8 月 3 日に亡くなりました。中ちゃんの温かい人柄、いつもみんなを笑わせてくれたこと、いつまでも忘れません。 (事務局)

●『この夏は元気なままよく働けました。冒険学校～台風～助成金報告・申請～委託事業～ちえのわ農学校 スケジュールも上手くできたし、新しい方向性もいろいろ見えた良い夏でした・・・が、9～10 月に失速、今回のナマステも 1 ヶ月遅れてしまい、申し訳ないです。 クロ』

●『今年はなんだか時間が過ぎるのが早すぎて、驚きが隠せません。私が歳を取ったから？なんか、世界レベルで 1 日 24 時間が実は 20 時間くらいになってんじゃないかと思っております。そんなこんなでもう紅葉が始まって、今年もあと少しになっちゃったなあ。はるこ』

○ 事務局の麗しき日々 (編集者泣かせのコーナーのもよう)

- ・にっしーが結婚しました。おめでとう～!!
- ・夏子が母になったもよう。おめでとう～!!
- ・町田匠 (たくみ) の社会人の感想「もう辞めたい・・・。」
- ・北翔一 (きたしよ〜) の社会人の感想「日々楽しく過ごしています。」
- ・柴山真 (しば) のタイキャンプの感想「超楽しかったッス。」
- ・甲斐くんの体が絞れて「カッコイイ」んだけど・・・!!
- ・あおいちゃん、教員生活はどうよ!? 応援してます～。
- ・ハズムは登山を辞めて 2 年経ち、もやしになったもよう。
- ・退官した木俣先生は、小菅村で毎週、畑をやっているもよう。
- ・深ちゃんが渋谷に新居を建てたもよう。

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか?

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』『ELF 環境学習中堅指導者のびと研修会』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。



ナマステ 117 号

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 8 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額（1～12 月）です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正 会 員：10,000 円 一般会員：5,000 円

学生会員：3,000 円 賛助会員(個人・団体)：10,000 円

家族会員（一家族）：6,000 円 特別維持会員：100,000 円

植物と人々の博物館友の会会員：3,000 円

小菅村特別会員：1 口 1,000 円から

郵便振替口座：00100-2-665768

口座名：特定非営利活動法人自然文化誌研究会

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日>2014 年 10 月 20 日

<編 集>自然文化誌研究会 事務局

<発 行>特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局>〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 3337-2

TEL：0428-87-0165

携 帯：090-3334-5328（黒澤）

E-mail：npo-inch@wine.plala.or.jp

H P： <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

ブログ：<http://npoinch.naturum.ne.jp/>

次回「ナマステ 118 号は 12 月上旬の発行を予定しています。ちゃんと発行します(><)